

雪国の強い味方です！

つちゆか

～土床体育館は冬場でも土の感触を忘れずにスポーツが楽しめます～

市民リポーター 野村佐月、小山佳代子



『能代市^{つちゆか}土床体育館』どんなに雪が降っても室内は土のままです。外は吹雪でも能代でここだけは土の上でスポーツが楽しめます。冬の期間中は、連日予約でいっぱいです。どんな人たちが利用しているのか、取材してみました。



冬場でも土の感触を忘れずに！

最初はゲートボール用として

平成9年3月に完成した能代市土床体育館は、冬場の市民の運動不足、体力低下を解消するために建設されました。ゲートボール競技がしやすいように、ゲートボールコート2面が取れる大きさに設計されています。

現在はさまざまな競技の人が利用しています。

土床体育館で最も気を使うことは、競技がしやすいように、土の状態を管理することです。

年2回、春と秋に土を起こし、週1回（月曜日）散水して土を固くし、できる限り土床に穴があかないように、

いつでもいい状態に保つようになっています。

さまざまな競技の利用者が増えれば増えるほど、全員が満足するような土の状態を保つことなど難しい問題もあります。

冬場は夏場に比べて利用急増

土床体育館は雨でも雪でも、部活の練習に打ち込んだり、趣味のスポーツが楽しめるということで、大人気です。11月から3月までが、もつとも利用者が多く、ほとんど予約でいっぱいだそうです。

特に冬場の利用が大きく増えるのは小中学校の野球部の利用があるからだと思います。

競技	回数	人数
野球	54	960
サッカー	8	277
硬式テニス	14	91
軟式テニス	24	164
バードゴルフ	4	33
ソフトボール	1	10

2月の利用者の統計です